国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和５年３月３１日
東北地方整備局

「東北道路メンテナンスセンター」を設置します

～急速に老朽化するインフラに対し、戦略的・効率的なメンテナンスを推進～

令和5年4月1日付けで新組織 **「東北道路メンテナンスセンター」** を設置します。

詳細等

【東北道路メンテナンスセンター】
設置場所：宮城県多賀城市桜木3丁目6−1（東北技術事務所内　2階）

・東北道路メンテナンスセンターは、今後急速に老朽化する社会資本への対策を強化するため、橋梁等の健全性の診断等を担当するほか、点検データ等を活かした、より戦略的・効果的なメンテナンスを推進します。

・なお、東北道路メンテナンスセンターの設置に伴い、下記のとおり整備局長、センター長による 看板設置等の開所式 を行いますので合わせてお知らせいたします。

日時：令和5年4月11日（火）14時から（20分程度）
場所：東北道路メンテナンスセンター　玄関
※取材を希望される場合は、別紙取材申し込みをメール又はFAXにて事前にお申し込み下さい。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会＞

問い合わせ先
【事務所に関すること】
国土交通省　東北地方整備局　企画部　企画課長　古賀（こが） 博久（ひろひさ）（内線3151）
【業務内容に関すること】
国土交通省　東北地方整備局　道路部　道路計画第一課長　柏（かしわ） 宏樹（ひろき）（内線4211）
【開所式に関すること】
国土交通省　東北地方整備局　総務部　総務課長　佐々木（ささき） 聡（さとし）（内線2351）

住所：宮城県仙台市青葉区本町3丁目3番1号
電話番号：022−225−2171

東北道路メンテナンスセンターの設置について

○急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、点検データ等を活かした、より戦略的・効率的なメンテナンスを推進するための組織として、「東北道路メンテナンスセンター」を設置。

○直轄国道における橋梁等の健全性の診断、高度な技術を要する修繕工事等を担当するほか、蓄積されたメンテナンスデータの管理・分析による劣化予測や修繕計画の最適化、新技術の活用などアセットマネジメントによる道路メンテナンスの高度化を推進。

○また、道路メンテナンスに係る地方公共団体支援として、施設の健全性の診断・修繕の代行、高度な技術を要する道路構造物保全に関する相談への対応、地方公共団体の職員等を対象とした研修等の技術支援を担当。

【業務内容】

- 直轄管理国道における橋梁等の健全性の診断
- 高度な技術を要する橋梁等の修繕計画の策定、設計、工事
- 劣化予測や修繕計画の最適化などアセットマネジメントの検討・導入（メンテナンスデータの管理・分析等）
- 橋梁メンテナンスに関する技術研究開発
- 地方公共団体管理施設の直轄診断、修繕代行
- 地方公共団体の道路構造物保全に関する相談窓口
- 地方公共団体の職員等を対象とした研修・講習会



庁舎の所在地について

【東北道路メンテナンスセンターについての概要】

○所在地：宮城県多賀城市桜木3丁目6-1
東北技術事務所内　2階



国土地理院地図をもとに東北地方整備局で作成

国土交通省　東北地方整備局

東北道路メンテナンスセンター開所式
取材登録書

令和5年4月11日（火）の開所式につきまして、
取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。
事前登録期間までに登録がない場合には、参加いただくことができません。

登録期限：4月6日（木）まで

1．報道機関名（会社名及び部署名）

2．氏名等

ご氏名 （複数で出席される場合は出席者毎のご記入をお願いします。）	連絡先 （当日連絡可能な携帯番号等を出席者毎のご記入をお願いします。）

3．送付先

メール：thr-sokuhou@ki.mlit.go.jp
FAX　：022-221-9889
（　国土交通省　東北地方整備局　総務課　広報係　）

4．取材に当たっての留意事項

コロナウイルス感染防止の対策のため、取材に当たっては、以下の点をお守り下さい。

・いわゆる3つの「密」を避けるため、間隔を確保する必要がありますので、担当者の指示に従ってください。
　担当者の指示に従わない場合等には、退出していただくこともあります。
・新型コロナウイルス感染防止のため、体調の悪い方は、出席を控えてください。
・出席者については、全員マスク着用します。現地での検温及びマスクの着用のご協力をお願いします。
・出席者数の削減のご協力をお願いします。